

## 指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	白石区市民部地域振興課(861-2422)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市北白石地区センター	所在地	札幌市白石区北郷3条7丁目9-20
開設時期	昭和61年4月(平成14年1月改築)	延床面積	1,467.70㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設			
2 指定管理者			
名称			
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

## II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽ 管理運営に係る基本方針の策定               <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 申込時に策定した管理運営業務に関する基本方針のもと管理運営を行った。</li> </ul> </li> <li>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 申込時に策定した管理運営業務に関する基本方針のもと管理運営を行った。</li> <li>▼ HPにて休館・開館案内、利用基準を変更の都度掲示 図書室の開室状況、各事業の中止状況など含めた 新型コロナウイルス感染防止関連の情報を随時更新。</li> </ul> </li> <li>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 施設利用に支障の無い範囲で節電を実施。(継続)</li> <li>▼ 継続実施している灯油使用量を削減する取組みは 新型コロナウイルス感染拡大防止を優先するため中止</li> <li>▼ 消費電力削減 年間消費電力93,177kwh(一般・ロードヒーティング合計) 昨年度比189kwh 0.2%増</li> <li>▼ 二酸化炭素排出量 年間を通した二酸化炭素排出量は85.4t(昨年度比5.8%減) 新型コロナウイルス感染防止のため換気を実施。 冬期間の暖房器具使用機会が増え、灯油・電力使用量が 感染防止対策実施以前より増加した。</li> </ul> </li> <li>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)               <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 仕様書のとおり職員を配置、4月に8人を継続雇用した。</li> <li>▼ 業務分担、指揮命令系統、緊急連絡網を定めた。</li> <li>▼ 緊急連絡網は施設の維持管理に関連する連絡先を掲載。 併せて近隣の警察・消防等防災に関連する団体を掲載。</li> <li>▼ 研修計画に基づき職員研修を実施。</li> </ul> </li> <li>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 安全対策のマグネット対応掲示板を追加、範囲を拡大 (継続事項)</li> <li>▼ 災害時要配慮者のため、車いすの寄贈を募集。</li> <li>▼ 寄贈頂いた6台の車いすの補修等メンテナンスを実施</li> <li>▼ 施設掲示物の配置を整理する取り組みを実施</li> <li>▼ 受付窓口横に感染症対策用の消毒液を通常設置</li> <li>▼ 災害時要配慮者、通常利用者向け車椅子確保のため リングプル回収を実施継続中。 目標値750kg、現在740kg回収済み。</li> </ul> </li> </ul>	<p>当初の計画通りに運営を行った。</p> <p>二酸化炭素の排出は昨年度と同水準となった。新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先した結果であり、排出量増加は、一時的なものと思われる。</p> <p>当初の計画通りに運営を行った。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。今後も適正な管理運営を継続するとともに、管理水準の向上に向けた取組に努めていきたい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。今後も適正な管理運営を継続するとともに、管理水準の向上に向けた取組に努めていきたい。			
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。今後も適正な管理運営を継続するとともに、管理水準の向上に向けた取組に努めていきたい。											

- ▼マイナンバー制度  
以下の項目を継続実施
- ・特定個人情報等の取扱いに関する基本方針を定めた。
  - ・担当者PCの安全管理(PCへのアクセス権限の制限)
  - ・修正パッチの適用ウィルスソフト導入等)
  - ・事務処理時の仕切りパネル設置
  - ・関係書類をファイルケース、保管庫(鍵付き)で管理
  - ・離席を防ぐため、作業中は他職員が接客対応を行った。
- ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)
- ▼以下の項目について第三者に委託した。
- 清掃、警備  
各点検業務  
エレベーター、自動ドア、ボイラー、地下タンク点検  
自家用電気工作物、消防設備点検、建物法定点検  
外溝緑地整備、除排雪業務、灯油納入
- ▼委託業務  
点検記録簿を整備し、保管  
必要な立ち合いと点検後の報告を確認
- ▼点検結果に応じて消耗部品の交換及び修繕を行った
- ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 10月6日 新型コロナウイルス感染防止のため書面のみ	(1)新型コロナウイルス感染防止にかかる地区センターの状況 (2)利用者アンケート集計結果 (3)その他 リングプル収集状況 節電実施状況 避難所に関する備蓄物資について
第2回 2月28日 新型コロナウイルス感染防止のため書面のみ	報告事項 (1)現在の地区センターの状況 (2)令和3年度事業実施状況報告 (3)節電実施報告 (4)その他 検討事項 (1)令和4年度事業計画 (2)地区センター運営に関する意見交換
<協議会メンバー> 白石区所管課3名 北郷東町内会1名 利用者団体 計3名(老人クラブ北郷明友会1名 利用団体2名) 運営委員会 3名	

開催回	協議・報告内容
第1回 館長会議 9月17日	(議題) ・札幌市区民センター等使用承認取扱要領等の再確認について ・パソコン講座のパソコンについて(情報提供) ・菊水元町地区センターの2021年度後半の運営方針 ・緊急事態宣言解除後の事業について
第2回 館長会議 3月23日	(議題) ・令和5年度指定管理者の更新について(情報提供) ・指定管理者更新に係る情報交換
≪メンバー≫ 白石区地域振興課職員2名 区民・地区センター館長4名	

マイナンバー対応基本方針及び取扱要領に沿って業務を実施できた。

各点検業務は遅滞なく実施。  
点検結果により部品交換や修繕を行った。

運営協議会2回とも書面での開催となり、ご意見を協議会委員から個別に聞き取りを行った。  
いただいた意見をもとに運営に反映させてゆく。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼各帳簿類の整備と取扱いは規定を定め適正に取扱うよう留意した。</p> <p>▼帳簿類の取扱い方法について不明な点がある時は所管課の指導を受け取扱いを行った。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼要望・苦情の内容と対応を職員に周知、情報を共有した。</p> <p>▼苦情・要望への回答を掲示。</p> <p>連絡先の無い要望への回答は掲示場所に掲示した。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼実施したアンケートの集計結果を館内掲示した。</p> <p>実施期間が短い開放事業利用者へのアンケートは未実施。貸室利用者及び、図書室利用者へのアンケートは実施。</p> <p>▼講座アンケートを実施。</p> <p>▼札幌市の業務検査時に関係帳票類を提示した。</p> <p>▼市への事業やその他報告については遅滞なく行った。</p>	<p>適正管理に取組み、問題は発生しなかった。重点取組みとして小口現金の取扱い規定の遵守を実施してゆきた</p> <p>苦情・要望には真摯に対応を行った。</p> <p>年間を通じて問題は発生しなかった。</p>									
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼業務仕様書に定めた令和3年度給与月額の通り支給した。</p> <p>▼パート職員には年間を通じて890円を支給</p> <p>▼労使間で3・6協定を結んだ。</p> <p>▼職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜業などそれぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。</p> <p>▼条件を満たす労働者を雇用保険に加入。</p> <p>▼勤務形態、家族状況等に応じ厚生年金、健康保険に適切に加入させ、適切に届け出等を行った。</p> <p>▼定期健康診断は11月に実施</p> <p>▼公益財団法人札幌市中小企業共済センターが主催するサポートさっぽろ福利・退職金共済制度に加入</p> <p>▼無期労働契約転換に該当する職員はいなかった(転換した職員8名中3名)</p> <p>▼有給休暇取得を奨励、職員全員が有給休暇5日以上取得</p> <p>▼インフルエンザ予防接種費用の委員会負担制度を実施。体調面で不安を申し出た職員2名を除き全員接種した</p> <p>▼新型コロナウイルスワクチン接種を奨励 全職員が3回まで接種した。</p> <p>▼職員の感染防止対策と感染時の対応を定め周知・徹底。 職員内で感染および濃厚接触者は発生しなかった。</p> <p>▼年間を通して職務中の事故やけがは発生しなかった。</p>	<p>適正な取り扱いを行い、労働観関係法令を遵守した。 新型コロナウイルス感染防止の周知・徹底を行った結果陽性者および濃厚接触者は発生しなかった。 引き続き左記の取組みと課題があれば対応しながら、雇用環境の向上させてゆきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">各種法令を順守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。 今後も法改正等に対し、適切に対応するとともに、雇用環境の維持向上に努めていきたい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	各種法令を順守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。 今後も法改正等に対し、適切に対応するとともに、雇用環境の維持向上に努めていきたい。			
A	B	C	D								
各種法令を順守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。 今後も法改正等に対し、適切に対応するとともに、雇用環境の維持向上に努めていきたい。											

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	<p>▼ 玄関入り口にサーマルカメラを設置、利用者の動線を整え入館時に体温測定と手指消毒の実施をお願いした。 継続事項</p> <p>▼ 仕様に適合した施設責任賠償保険に加入した。</p> <p>▼ 窓口への導線と間隔(2m)を空けた待機場所表示を設置</p> <p>▼ 玄関設置の消毒用アルコール機への導線確保</p> <p>▼ 非接触型体温計付き手指消毒機追加、非接触型体温計設</p> <p>▼ 各部屋利用時、使用する消毒アルコールと拭取り用ペーパータオルを設置</p> <p>▼ 感染拡大防止対策のお願いをまとめたチラシを作成、利用者に配布した</p> <p>▼ スリッパの返却ボックスを設置し、一度使用したスリッパは清掃、消毒したのち使用するサイクルを通年で実施。</p> <p>▼ 利用者団体へ閉館など、重要事項を電話連絡した。</p> <p>▼ 新型コロナウイルス感染防止対策を定め実施</p> <p>▼ トイレのペーパータオルを導入</p> <p>▼ 流水音発生器を女性用トイレに導入</p> <p>▼ 敷地内歩道に滑り止め剤の散布を実施。</p> <p>▼ 転倒の原因となる床面の濡れをモップ等で清掃</p> <p>▼ 裸足で利用する団体の安全確保の為、清掃実施</p> <p>▼ 各部屋の怪我につながる備品類の故障を修繕</p> <p>▼ 冬期間除雪を行い歩道の安全確保を実施</p> <p>▼ 敷地内歩道から車道への飛出し注意の警告を表示</p> <p>▼ スポーツや高齢者利用時の傷病に備え救急箱を設置</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼ 清掃 日常・定期清掃以外にも、清掃が必要な場合については委託業者と協議しながらその都度実施。 開館に併せて定期清掃を実施。 定期清掃時、消毒効果の高い洗剤を使用し開館に備えた。 併せて施設内の外構清掃・除草作業を行った。</p> <p>▼ 警備 委託業者と連携して警備上で異常があった際の対応をその都度協議しながら行った。</p> <p>▼ 備品管理 備品の小修繕を行った。</p> <p>▼ 駐車場の管理 今年度は、利用の減少により混雑は発生せず混雑緩和のため誘導を行うことが無かった。</p> <p>▼ 修繕・交換項目 ホールブラインド修繕・エアコン修繕 その他の整備点検(継続) 安全の観点から施設備品を整備・補修した。 エアコン室外機破損防止に室外機周辺の除雪を実施。 安全のため、落雪の危険性がある部分を雪下ろしを実施。 その他危険と思われる箇所を除雪した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼ 防災計画を策定するとともに、避難訓練を実施。(継続)</p> <p>▼ 災害支援型飲料自販機を設置。(継続)</p> <p>▼ 避難所開設時の物資を準備保管中。(継続)</p> <p>▼ 灯油地下タンク設備の日常点検を実施。(継続) 点検記録簿を作成・記載した。</p>	<p>アンケートから施設の維持管理について良い以上の回答が86.8%と一定の評価を得たと思われる。</p> <p>清掃や施設の管理について良い以上が86.8%と一定の評価を受けているものと思われる。 各種点検業務および日常の点検から故障及び消耗箇所を把握し、対応してゆきたい。</p> <p>計画通りに行った。</p>	<p>協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。 感染対策に係る新たな備品を購入するなど、利用者の安全につながる取組も積極的に行っていることは評価できる。 今後も継続した取組を期待している。</p>

(4)事業の計画・実施業務	▽ 区民講座について		A B C D
	▼ 講座1講座実施(冬休み自由研究1月開講分) 計画14講座中、13講座が感染拡大防止のため中止 実施した講座は比較的新型コロナウイルスの感染状況が安定していた時期に感染防止対策をとり実施した。	開講した講座は、実施が可能な時期で、かつ事前に検討した感染防止対策を徹底し実施し	コロナ禍にあっても感染症のまん延が落ち着いている時期に一部の事業を実施したことは評価できる。また、ニーズが高い図書室の情報を積極的にホームページにおいて発信したことも併せて評価できる。今後必要な感染対策を実施した上で市民のニーズに応えられるよう積極的に事業の計画・実施をお願いしたい。
	▼ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務 ▼ 第28回バドミントン大会 計画50人 中止 ▼ 第31回家庭婦人バレーボール大会 計画50人 中止 ▼ 第31回卓球大会 計画50人 中止 ▼ 第31回体育の集い 計画50人 中止 ▼ 第18回パークゴルフ大会 計画50人 中止 ▼ 第32回ゲートボール大会 計画30人 中止 ▼ 第34回文化祭 計画千人 中止 ▼ 第42回囲碁大会 計画30人 中止 ▼ 地域のお茶の間 計画60人 中止 ▼ 第13回介護予防支援フェア 計画70人 中止 ▼ 第14回三世交流会クリスマス集い 計画150人 中止 ▼ おはなし会 計画120人 中止 ▼ ぬいぐるみのお泊まり会 計画5人 中止 ▼ サークル交流会 計画60人 中止 ▼ おはなし会 計画 4回開催 23回70人 参加16人 総数 16人	開放事業、地域交流事業は比較的感染状況が安定していた時期に実施したおはなし会を除き、安全に開催できないことから中止。	
	▼ 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)に関する業務 ▼ 12月13日～1月25日実施分を除き中止 上記期間に実施した種目 (30件、317人利用) 卓球、ミニバレー、バドミントン、テニポン、学習スペース パークゴルフ、ゲートボール 通年中止となった種目 囲碁・将棋		
	▼ 図書業務 ▼ 利用者が混乱しない様、休館・休室情報などをHPに随時掲載。広報の発行(各町内会の回覧)をお願いして図書室からのお知らせを強化 (年間発行8号全てに掲載)開室状況など含め利用案内を行った。 ▼ 貸出し回数が多く傷んでいる本の代替本を新規購入 この中には利用者からの購入希望本も含まれる 継続事項 ▼ 感染防止対策の実施 ▼ 「白石でっち奉公」受入は中止した。 ▼ 直木賞・芥川賞他の各賞受賞作品一覧を掲示 ▼ 季節や歳時にちなんだブックフェアや特集展示を実施。 ▼ 長期未返却者に返却の呼掛けを行う取組み。 ▼ 新刊案内の充実 ▼ 長編シリーズを執筆する作家の所蔵一覧を作成・配布 ▼ 約冊数の多い資料ランキングを掲示	安全にご利用いただける様、感染防止対策と併せてお知らせを強化した。	

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等				年間の利用率は昨年度とほぼ同じとなった。新型コロナウイルスの影響が無かった平成30年度の利用率61.2%に比べ半減。閲覧数が増加したホームページの貸室利用状況をご覧になった方から貸室利用のお問い合わせが増加している状況から、ホームページでのお知らせに注力して利用を促進させてゆきたい。	A	B	C	D
		R2年度実績	R3年度計画	R3年度実績		感染症の影響により利用率は減少したが、今後の利用者の増加に向け、ホームページでの情報発信なども含めた様々な工夫を行っていただきたい。			
		件数(件)	604	850	533				
	ホール	人数(人)	11,674	20,000	9,650				
		稼働率(%)	51.3	75	52.8				
	集会室	件数(件)	249	570	263				
		人数(人)	3,411	11,000	2,722				
		稼働率(%)	25.8	52	30.3				
	実習室	件数(件)	354	520	223				
		人数(人)	2,797	5,000	1,342				
		稼働率(%)	37.5	48	27.3				
	娯楽室	件数(件)	265	630	276				
		人数(人)	2,312	8,500	2,384				
		稼働率(%)	28.4	59	32.3				
	和室	件数(件)	169	430	147				
		人数(人)	1,294	4,400	964				
		稼働率(%)	17.3	48	17.4				
	全体	件数(件)	1,641	3,000	1,442				
		人数(人)	21,488	48,900	17,859				
		稼働率(%)	32.1	56	32.0				
	▽ 不承認 0件、取消し0件、減免 0件、還付2件								
	▽ 利用促進の取組								
	▼ ホームページ空き室情報開示(継続) 利用者が部屋の空き状況を確認できるよう、HPIにて掲載								
	▼ サークル紹介ページを掲載、更新								
(6)付随業務	▽ 広報業務	▼ 新型コロナウイルス関連などの広報する時間が短く更新頻度が多い情報はホームページや館内掲示を活用し、お知らせを行った。			幅広い年齢層に事業の実施状況や図書室開室をお知らせするため、昨年度より町内回覧の広報発行数を増やした。ホームページが前年度比で約2倍のページビューとなった。お知らせの効果など客観的な評価が難しいが、ホームページの閲覧数が増えていることから、変化に対応し必要な情報をお知らせできているものと思われる。	A	B	C	D
		▼ HPページビューは計880,903件、昨年度比441,798件増。							
		▼ webアクセシビリティについて ホームページ上でwebアクセシビリティ方針を掲載方針に沿ってホームページの更新を実施。(継続)							
		▼ 地区センター広報発行(年8回発行) 北白石・北東白石地区の町内会に回覧を依頼した。問い合わせの多かった図書室の開室・閉室の状況をお知らせするため、図書室からのお知らせを全号掲載。併せて広報の発行形態上、周知に時間がかかるため周知に時間をとることができる情報を掲載した。							
		▼ 広報さっぽろに講座開催のお知らせを掲示依頼し掲載。							
		▼ 館内に地区センターからのお知らせ及び、札幌市からのお知らせ、地域情報等を掲示板を設置し掲示。(継続)							
	▽ 引継ぎ業務								

2 自主事業その他			
▼ 自主事業 ▼ 災害支援型飲料自販機を設置(継続) 利用ニーズの充足と災害時避難者への飲料水の確保が目的 自販機は白石区のマスコットキャラクターがペイントされ、設置された 電光掲示板には札幌市からのお知らせが表示され、災害時に 災害情報も表示される。収益の一部を白石区ふるさと会へ寄付する。		当初の計画通りに実施した	A B C D
▼ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 継続事項 ▼ 夜間パート職員を地元町内会へ紹介を依頼し雇用した。 ▼ 雑誌・新聞・図書資料等は北東白石地区の書店から購入。 ▼ その他修理や資材購入を可能な限り地域の企業から購入。 ▼ 管理業務の委託業者は札幌市に本拠がある企業に委託した。 併せて可能な部分は地域に根ざした企業へ委託をおこなった。		当初の計画通りに実施した	積極的に地域企業を活用するほか、地域の方をパート職員として雇用するなど、適正に実施されているものと評価できる
3 利用者の満足度			
▼ 利用者アンケートの結果			
実施方法	1月中旬～4月末まで 貸室・図書室利用者を対象にアンケートを配布。 質問は5段階評価と記述にて回答いただく方法を用いた。 回答件数: 貸室利用者362件 図書室利用者12件	アンケートの利用満足度の結果から一定の評価を得ていると思われる。	A B C D
結果概要	・接客態度 良い以上が85.3% 昨年度比1.7%減 ・施設の維持管理良い以上が86.8% 昨年度比1.4%減 ・利用満足度満足良い以上が87.6% 昨年度比3.1%減 ※「大変良い」と「良い」の上位2回答の合計値		概ね高評価を得ており、適正な管理運営が行われていることから要求水準を満たしていることと評価できる。
利用者からの意見・要望とその対応	▼ 駐車場の冬期水たまりができない様にするというの では 1件 対応が遅れたことをお詫びする旨掲載。 雪が急激に解けた水たまりを解消すべく、翌日に水たまりの要因である駐車場の氷を削る様除雪業者に依頼し行った。 職員が氷割と水抜きの水路をつけた結果、水たまりは3日で無くなり、その後4日ほどで自動車の走行に不自由が無い状況まで回復した状況を説明。 ▼ 駐車場の除雪について 2件 状況が改善しなかったことをお詫びする旨掲載。 併せて、道路の除雪は管理外であること、例年、町内会の除排雪が行われるが、今年は雪が多く除排雪が中止となったこと、雪解け時の凹凸が激しい除雪センターへ道路の除雪をお願いしたが、それでも凹凸が発生した状況を掲示 ▼ 靴箱に鍵をつけて欲しい 2件 靴箱に扉は無く、靴箱の構造とそのスペース上全ての靴箱に扉と鍵を設置することは難しい状況まずは扉を設置可能かどうか検討するので時間を頂きたい旨掲載。 靴の取り違えへの対処の要望と思われるので、各部屋に備付の靴箱の利用を促す旨と靴に目印をつけて対処していただくようお願いする旨を掲示。		また、利用者から改善要望のあった意見に対して速やかに対応している点も評価できる。 引き続き、利用者の意見・要望を的確に把握し、可能な限り速やかに施設の管理運営に反映させていただきたい。

## 4 収支状況

## ▽ 収支

(千円)

項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)
収入	34,748	34,000	▲ 748
指定管理業務収入	34,688	33,951	▲ 737
指定管理費	27,641	27,641	0
利用料金	6,735	3,986	▲ 2,749
その他	312	2,324	2,012
自主事業収入	60	49	▲ 11
支出	34,748	34,122	▲ 626
指定管理業務支出	34,730	34,111	▲ 619
自主事業支出	18	11	▲ 7
収入-支出	0	▲ 122	▲ 122
自主事業による利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	0	▲ 122	▲ 122

【参考】	R3年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	146	下記のとおり

## ▽ 説明

- ▼ 今年度の収支は122千円の減となった
- ▼ 利用料金収入は計画より2,619千円の減となった
- ▼ その他収入は令和3年度の貸室利用料金損失補てん金(2,212千円)含む
- ▼ 実費弁償による事務処理の受託等の確認申請により令和4年度まで法人税等の申告が不要
- ▼ 中止となった事業予算が未執行となったが、換気を伴う感染防止対策や灯油単価の上昇、大雪により光熱水費(主に灯油、電気)が執行増。新型コロナウイルスの影響が無かった平成30年度と比較して光熱水費が1,310千円の増となった。
- ▼ 【参考】の利益還元は、利用者からの要望があった、持運び可能な放送設備の購入費用

年間収支は122千円の減となったが、感染拡大防止に伴う変化や、利用者の要望に対応しながら予算を執行できたと思われる。

A	B	C	D
新型コロナウイルスの影響により利用料金収入は計画を下回ったものの、経費削減や市からの補填金により収支の減少幅は抑えられている。また、利用者の安全のため利益還元として備品を購入しサービス水準の維持向上に務めていることは評価できる。			

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼ 収支の減益と利益還元について 利用者からの要望のあった持運び可能な放送設備を年度末に購入 この購入金額を除けば収支はプラスとなり、一定の能力を維持しているものと思われる。		適   不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適   不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
▼ 資金管理現金の適正管理の強化 年間を通じて、不必要な現金を置かないことを取扱者と確認しながら業務を行い結果、適正に管理できた。 ▼ 使用エネルギー削減の継続実施 昨年度に引き続き、感染防止対策を重視し冬期のエネルギー削減の取組みを休止した。 結果、ほぼ昨年度と同様のエネルギー消費量となった。 取組み自体は今後も継続実施する。 ▼ 駐車場混雑緩和の取組実施 昨年度同様、利用者が減少したことから駐車場の混雑がなく、場内誘導など対応するケースが無かった。 混雑緩和の取組みは継続実施する。 ▼ 図書室の充実 委員会にて購入した本の利用増について効果は未検証だが、利用者からの購入希望本も購入していることから図書室の充実に一定の効果はあると思われる。 ▼ 避難所マニュアルの改正 昨年度からの検討事項として、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応したマニュアルを作成した。	▼ 資金管理、現金の適正管理の維持 ▼ 使用エネルギー削減の継続実施 ▼ 駐車場の混雑緩和の取組実施 ▼ 図書室の充実

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
利用者の安全確保や施設の快適な環境を保つため、常に細やかな維持管理に努めており、適切に管理運営が行われている。利用者の意見を聴いて施設の管理運営に反映させることで、サービス水準の維持向上に努める姿勢は評価できる。今後に向けては、事業の再開や貸室利用者の増加に向けた取組を積極的に行い、利用者のニーズに応えていただきたい。	